



京大広報

号外

2010.4

目次

〈卒業式・大学院学位授与式〉

卒業式における総長のことば……………3134

大学院学位授与式における総長のことば……………3136

〈大学の動き〉

平成21年度卒業式……………3138

平成21年度大学院学位授与式……………3138



平成21年度 卒業式

京都大学総務部広報課

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

卒業式・大学院学位授与式

卒業式における総長のことば

平成22年3月24日

総長 松 本 紘

本日、学士の学位を授与される2,752名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご来賓の沢田元総長、井村元総長、名誉教授、列席の副学長、学部長、部局長をはじめとする教職員一同とともに、皆さんのご卒業を心からお祝いいたします。あわせてご家族、ご友人、関係者の皆様にもお慶び申し上げます。

京都大学の113年の軌跡において、皆さんを含めて本学の卒業生の累計は、185,365名となりました。皆さんの前には18万人を超える先輩が存在することになります。

皆さんは今後社会のリーダーとして京都大学で培われた人間力を基礎に、人類全体の生存基盤がおびやかされつつあるこの困難な時代に、世界を舞台に未来を切り拓く使命を果たさねばなりません。その使命を果たすためには、これまで習得した知識だけでは十分でないことは、皆さんも重々承知されていることと思います。知識はネットワーク化され、一つの体系をなさないと臨機応変に使えるものとはいえません。また、ネットワークをなすのは個別の知識にとどまらず、その周辺にある人間関係も自然にその構成要素となります。人間関係のネットワークは融通無碍なものです。同世代のネットワークに加えて、先輩・後輩・友人や教師とのネットワーク、さらに書物などを通じ時間軸や国境を越えたネットワーク、例えば、過去の巨星もあなたのネットワークの一員になっているかもしれません。「学問とは真実を巡る人間関係である」と私が信ずる所以であります。大学生活を通じて築かれた、時空を超えた知識のネットワークが皆さんの重器です。今後はますますネットワークを広げ、世界が直面する多元的な



課題の解決に挑戦していただきたいと思います。

かつて本学の教授を務めた哲学者・和辻哲郎先生は「成長を欲するものは、まず根を確におろさなくてはならない。上に伸びる事をのみを欲するな。まず下に食い入ることを努めよ」という言葉を残されています。ネットワークはこの根に通じます。根を伸ばし、根を大きく張り、様々の良きものを自らの栄養として貪欲に吸い上げ、常に120%の目標を持ち続け、自らを大樹となしてほしいと思います。

皆さんはこれから社会において多くの試練に直面することになると思いますが、苦難の時にこそ、大学を思い出してください。大学というものは、学生の自学自習を鼓舞し、広い視野と深い教養を身につけるにふさわしい肥沃な土壌です。学生にとって大学は、それぞれが社会で自立できるよう自らを鍛え、強い気迫と意志、人の気持ちがわかる情の豊かさ、深く広い知識、即ち、知、情、意の充実をはかり、体力を強化し、人間力を磨き上げる場所でなければならないと私は考えています。皆さんは大学を卒業して初めて、いかに才能にあふれ、素晴らしい人々に囲まれていたかがわかることでしょう。社会人として旅立つにせよ、進学するにせよ、この卒業式で一つの区切りをつけ、新しいスタートラインに立つ皆さんを、京都大学はこれからも応援していきます。卒業する皆さんがときには母校を訪ね、語らい、ま

た同窓会活動の場として、また生涯の学習の場として京都大学を人生の基軸として、積極的に活用していただけるよう願っています。

これからも世界は大きく変貌していくことでしょう。その激動の原動力と対応力はすべて人にかかっています。このことを受け、世界の先進国は人づくりの最終段階ともいえるべき高等教育に力を入れて、更なる発展の道を高等教育が生み出す技術革新にかけようとしています。一方、我が国の高等教育に対する財政支出の水準はOECD加盟国中最下位であり、最近5年間の高等教育費の伸びはOECD加盟国で唯一マイナスになっています。その結果、不況にあえぐ家計が高等教育を支えつづけなければならないという現実があります。ご家族の厚い支援に大学としてお礼申し上げるとともに、卒業生の皆さんには、これまでのご家族の負担や支援に対し、今日の良き日にぜひ感謝の気持ちを伝えてください。

本日、皆さんの卒業の記念に風呂敷を用意しました。風呂敷は「包む」、「結ぶ」、「広げる」といった使い方から、「幸せを包む」、「人を結ぶ」、「つきあい

や見識を広げる」という意味に通じるといわれています。京都大学を卒業される皆さんが、人との結びつきを大切に、更に見識を広げ、それぞれの幸せに包みこまれますように願って、本記念品を贈ります。

最後になりましたが、卒業して、社会で活躍される皆さんには、様々な場所で、京都大学で身につけた自学自習の精神を活かして活躍しつつ、皆さんの母校である京都大学で研究教育を続ける研究者の応援もお願いします。また、約6割を占める皆さんは、修士課程に進学され、大学院で学び、研究を続けることになりますが、私は京都大学が優秀な人材を活かせる大学であるように、学内外で必要となる改革を進めていきたいと考えています。

今後も絶えず自らを省みて、身体を鍛え、こころを磨き、体とこころのバランスを大切にして、ご活躍されることを願い、学士の学位を授与された皆さんへの私のお祝いの言葉といたします。

ご卒業おめでとうございます。



大学院学位授与式における 総長のことば

平成22年 3月23日

総長 松 本 紘

本日、京都大学において修士の学位を授与される2,131名の皆さん、修士(専門職)の学位を授与される151名の皆さん、法務博士(専門職)の学位を授与される187名の皆さん、博士の学位を授与される557名の皆さん、誠におめでとうございます。ご来賓の沢田元総長、列席の副学長、研究科長、学舎長、教育部長、研究所長をはじめとする教職員一同とともに、皆さんの学位取得を心からお祝い申し上げます。

今年は、修士並びに博士の学位授与式を合同し、初めての大学院学位授与式として、ここ「みやこめっせ」で挙行することになりました。これにより、多くのご家族、ご友人、関係者の皆様と学位授与の喜びをともにできますことを大変うれしく思います。

本日で、京都大学が授与した修士号の累計は、61,280、修士号(専門職)の累計は478、法務博士号(専門職)の累計は893、博士号の累計は、37,682になりました。

博士(薬科学)の学位については、今回が初めての授与となります。

また、本日学位を授与される皆さんには、651名の女性と248名の留学生が含まれています。

これまで皆さんの在籍してきた大学院は厳しい研鑽の場であったかと思います。しかし、気が付いていない方も多いかもかもしれませんが、実は皆さんは研究室を中心に、綾なす人間関係の中で温かくはぐくまれてきたのです。そして、ともに未来の可能性に挑戦する多くの先輩・後輩や友人に囲まれ、成果を上げてきたのではないのでしょうか。もちろんまわりの力というより、自らの力のみで優れた成果を上げてきたという人もいるのかもしれませんが。しか



し、研究室という環境の光を受けて、たとえていえば、月の光のように輝いてきた人も多いのではないのでしょうか。いくら美しくても月は自ら輝くことはできません。確かに直ちに太陽のような恒星のように自ら輝くというのは無理かもしれませんが、大学院において専門を修め、専門分野において自力で灯を点らせる力を学位の授与という形で京都大学において認められた皆さんです。臆することなく、自ら輝き、その光で社会全体を良きものに変える力になっていただきたいと思います。これが皆さんに課された使命です。

学位を授与される皆さんのご家族、ご友人、関係者の皆様には、この晴れの学位授与式へ大きな期待を胸にご臨席いただいているものと思います。本日学位を授かる皆さんはこの式典が終わったら、これまで受けた様々なご支援に対して、感謝の気持ちを率直に伝えてください。私たち教職員一同も、ここに至るまでの様々なご苦勞やご支援に対してお礼を申し上げ、今日の喜びを分かち合わせていただきたいと思います。

修士の学位を授与される皆さんの中には、独創性あふれる修士論文を完成させた人も、それぞれの専門分野の^{うんのう}蘊奥を垣間見た人もおられるでしょう。それを人生の基礎として、それぞれの進路においてますます研鑽を積んでいただきたいと思います。とりわけ、博士課程に進学する人は、それぞれの専門分

野への更なる沈潜が求められます。修士課程を修了し、多くは今後どの方向に自分の才能を伸ばせばよいかを見極めることができているものと思います。しかしながら、まだそのことを定め得ず悩んでいる人もいるかもしれませんし、課程を修了したものの、違う方面に才能があるかもしれないと思っている人もいるかもしれません。詩仙・李白は「天の我が材を生ずるは、必ず用あり」とうたっています。皆さんの才能が開かれる道は必ずあります。これからも絶えずそれを探りながら、自分の道を切り拓いてほしいと思います。

博士の学位を授与される皆さんには、それぞれの専門を掘り下げ、他人が成し得なかった独創的な仕事を成し遂げたという誇りと自信がこれからの人生の大きな支えとなります。切り拓いた研究テーマそのものは、時の流れの中で陳腐化していく運命にあるものもあるかもしれません。しかし、それを作り上げる過程で傾けた努力や体験した悩みや成し遂げたときの喜びは、皆さんの人格を磨いてきたはずです。私はジョン・F・ケネディーも好んだ上杉鷹山の「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」という言葉が好きです。似たような言葉は新約聖書のマタイ伝にもみられます。有名な「求めよ、さらば与えられん。尋ねよ、さらば見いださん。たたけ扉を、さらば開かれん」がそうです。すなわち、何事も気迫と自信をもって取り組みれば必ず事は成る、成らないのはやりきるという強い信念がないからである、という考えでしょう。これからの人生で直面する苦しいときや追いかけるべき課題を見失ったときには、博士論文の完成に費やした日々を思いだして、チャレンジする強い意志と信念を呼び戻していただきたいと思います。

皆さんのこれから進む人生において、一層の知識や経験が必要となる時がやってくるかも知れません。その際には、皆さんが学んだこの京都大学を思い出

してください。そして気軽に大学を訪れてください。京都大学との縁は、同窓会や生涯の学びを通じてこれからも続きます。この大学で出会った多くの友人や先輩・後輩や教職員が皆さんの人生の基軸として力になります。

中国の十八史略に「士は別れて三日なれば、即ちまさに刮目して相待つべし」という言葉があります。努力を重ねる者は日々成長するので、次に会うときには、きっと飛躍的な成長を遂げているから、刮目すなわち目をこすって注意深く見なければならぬという意味です。皆さんと次にお会いするときには、必ずや更に成長した皆さんの姿を刮目して見ることになると思っています。

現在、大学は社会からの厳しい評価の目にさらされています。チャールズ・ダーウィンの進化論では、生き残るのは強いものでも賢いものでもない、適応できるものであるとっています。私たち京都大学も努力を重ね「強い大学」や「賢明な大学」だけでなく、「変化の空気を読み取り、変化に適応できる大学」をめざしたいと思っています。皆さんも母校を温かく見守り、今後ご支援いただきますようお願いいたします。同時に、京都大学は皆さんの人生の基軸となっていきたいと考えています。

本日学位を授かりし3,026名の皆さんが、持てる力のすべてを活かしきる場所を見つけ、これまでの研鑽の過程で培われてきた豊かな人間力に更なる自己研鑽を重ね、世界のリーダーたるべく更に高度な教養を深め、いきいきと活躍することを願い、私のお祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

大学の動き

平成21年度卒業式

3月24日(水)午前10時から、京都市勧業館みやこめっせにおいて、沢田元総長、井村元総長、名誉教授をはじめ各理事・副学長、各部局長等の出席のもとに平成21年度卒業式が挙行された。学歌斉唱の後、松本 紘総長が各学部代表に学位記を授与した。

続いて総長の式辞があり、最後に全員で「蛍の光」を合唱して、午前10時35分に終了した。

今年度は、初めて学士(薬科学)の学位を授与した。

新学士は計2,752名であり、学部別での卒業生数は、総合人間学部129名、文学部206名、教育学部71名、法学部314名、経済学部252名、理学部271名、医学部(医学)104名、医学部(人間健康科学)137名、

薬学部(薬学)6名、薬学部(薬科学)53名、工学部913名、農学部296名であった。



(教育推進部)

平成21年度大学院学位授与式

3月23日(火)午後2時から、京都市勧業館みやこめっせにおいて、沢田元総長をはじめ各理事・副学長、各部局長等の出席のもとに平成21年度大学院学位授与式が挙行された。松本 紘総長が修士、修士(専門職)、法務博士(専門職)の各研究科、学舎、教育部代表に学位記を授与し、続いて博士出席者全員に学位記を授与した。その後、総長の式辞があり、午後3時57分に終了した。

今年度は、初めて博士(薬科学)の学位を授与した。

修士学位の修了者は計2,131名であり、学位に付記する専攻分野の名称別では文学94名、教育学44名、法学12名、経済学33名、理学274名、医科学22名、人間健康科学42名、薬学69名、薬科学13名、工学673名、農学291名、人間・環境学150名、エネルギー科学99名、地域研究31名、情報学159名、生命科学79名、地球環境学46名であった。修士(専門職)学位の修了者は計151名であり、社会健康医学38名、公共政策42名、経営学71名であった。また、法務博士(専門職)学位の修了者は187名であった。

博士学位のうち課程博士取得者は計514名であり、学位に付記する専攻分野の名称別では文学26名、教育学3名、法学13名、経済学19名、理学98名、医学67名、医科学4名、社会健康医学3名、薬学24名、薬科学6名、工学103名、農学38名、人間・環境学

40名、エネルギー科学10名、地域研究16名、情報学23名、生命科学17名、地球環境学4名であった。また、論文博士取得者は計43名であり、学位に付記する専攻分野の名称別では、文学4名、教育学2名、経済学1名、理学4名、医学9名、薬学3名、工学9名、農学9名、情報学1名、地球環境学1名であった。

なお、今年度は卒業式および大学院学位授与式の会場を、これまでの本学総合体育館から、京都市勧業館みやこめっせに変更した。また、これまでの修士・修士(専門職)・法務博士(専門職)学位授与式と博士学位授与式とを統一し、大学院学位授与式として挙行した。



(教育推進部)